

第1回新潟市南区地域福祉アクションプラン推進委員会 議事録

日 時 平成30年8月1日(水) 午前10時～
会 場 白根健康福祉センター 3階多目的ホール

<p>午後 2 時 事務局</p>	<p>皆さん、おはようございます。定刻になりましたので始めさせていただきます。</p> <p>若干、まだお越しになっていない委員がいるのですけれども始めさせていただきます。</p> <p>これより平成 30 年度の第 1 回新潟市南区地域福祉アクションプラン推進委員会を開催させていただきます。</p> <p>私は、本日の進行を務めさせていただきます南区健康福祉課課長補佐をしております渡邊と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>本日の会議は、会議録を作らせていただきます。録音をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>開会にあたりまして、南区健康福祉課の田中課長よりごあいさつ申し上げます。</p>
<p>健康福祉課長</p>	<p>皆さん、おはようございます。本日はお忙しいところ、また連日の猛暑の中、南区の地域アクションプラン推進委員会にお集まりいただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>私は、この 4 月に異動してまいりました健康福祉課長の田中と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>初めてお目にかかる方、何回かお目にかかった方もいらっしゃると思いますけれども、よろしくお願いいたします。</p> <p>本日の議事内容でございますが、委員の半数の方が新しい方になりまして、委員長と副委員長の選任もでございます。</p> <p>また、地域の支え合いを高めていく重要な事業が数多く盛られている南区地域福祉アクションプランにつきまして、本日は平成 29 年度の取組の報告が中心になります。委員の皆様方からぜひ忌憚のないご意見等をいただけたらと思っております。</p> <p>併せて、様々な取組や課題につきまして、それぞれの地域にお持ち帰りいただき今後の福祉活動に活用していただければと考えております。</p> <p>本日は長時間にわたりますけれども、よろしくお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>続きまして、南区社会福祉協議会の小林事務局長よりごあいさつ申し上げます。</p>
<p>南区社会福祉協議会事務局長</p>	<p>皆様、おはようございます。南区社会福祉協議会の事務局長の小林でございます。</p> <p>日ごろ、地域福祉の推進ならびに社会福祉協議会の事業の推進に</p>

事務局	<p>つきましては、ご理解とご協力をいただきまして大変ありがとうございます。</p> <p>南区地域福祉アクションプランは、平成 26 年度に 6 年間の計画期間で策定をされ、今年が 4 年目ということでございます。その半分が過ぎて後半戦に入るとのことですけれども、その間委員の皆様をはじめまして地域の方々や区役所関係機関等アクションプランの基本目標でございます「ひととひとがふれあい、安心していつまでも暮らせるまち」という目標の実現を目指して様々な取組をしていただいているところでございます。</p> <p>ただ、その目標を達成するには、それぞれの地域で住民の皆様同士の助け合いというものは、まずは基本になってくるのではないかと考えておるところでございます。</p> <p>先月 7 月に発生をいたしました西日本豪雨災害で、多くの方が被災をされております。このような災害時、行政の皆様や企業、団体の支援、あるいはまた災害ボランティアの支援など、入ってくるわけでございますが、初期の避難でありますとか安否の確認、また普段の生活を立て直す際の過程では、これを分け合い助けられる隣近所の皆さんの関係がとても重要になってくるのではないかと考えております。</p> <p>しかしながら、近所づきあいがなくなるとか挨拶もできないとかそのようなことではなかなか、いざ災害時になったからといって声をかけられるかといったらなかなかそういうわけにはいかないと思っております。普段から顔見知りになって、あいさつをし合えるような間柄でいるからこそ、そういうときに声をかけられるのではないかと思っております。</p> <p>地域福祉の原点というものは、まずそこではないかと思うところでございます。</p> <p>本日は、ご多用のところお集まりいただきまして、大変どうもありがとうございます。ご審議をよろしくお願いいたします。</p> <p>以上、ごあいさつとさせていただきます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、本日お配りしました資料の確認をさせていただきます。事前にお送りしてあります資料でございますが、本日の会議次第が 1 枚、委員名簿が 1 枚、資料 1 「南区地域福祉アクションプラン概要版」が表と裏で 2 枚。資料 2 「平成 29 年度南区地域福祉アクションプラン福祉分野別計画進行管理表」が、13 ページ。</p>
-----	--

金子委員長	<p>本日配付の資料3が、25 ページです。分科会希望票というものもここに載ってございますのでご確認いただきたいと思いますが、いかがでしょうか。足りないものがございましたら、お配りさせていただきます。よろしかったでしょうか。会議の中で過不足等ございましたら、お声がけいただければと思います。</p> <p>続きまして、次第3、自己紹介に移らせていただきます。今年度に新たに就任された方もおられますので、改めて自己紹介ということでお願いします。自己紹介は、選出先とお名前など簡単をお願いします。それでは、金子勝委員から順番によろしくをお願いします。</p> <p>本日、仲山委員と小林委員からは欠席のご連絡をいただいております。西村委員につきましても、現在到着しておりませんが、じきにこられると思いますけれども、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、よろしく願いいたします。</p> <p>私は、地域代表で新飯田コミュニティ協議会から推薦をいただいております金子と申します。よろしく願いいたします。</p>
上杉委員	<p>コミュニティ茨曾根より、今回から皆様のお仲間入りをさせていただいております上杉と申します。</p> <p>今回、初めてですので、皆様の貴重な意見を聞ければと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。</p>
中丸委員	<p>庄瀬地区からまいりました中丸と申します。地域では、社会福祉協議会の会長を今年から仰せつかりました。</p> <p>正直、この会は立ち上げのときに、それこそ1年前にメンバーだったものですから懐かしいと思います。メンバー全員替わったのだと思って新鮮に思っていますし、今までの経過を見させていただきましたが、皆様頑張ってきてくれたと心強く思っていますし、今日は改めて委員をさせていただきたいと思っております。よろしくどうぞお願いいたします。</p>
遠藤委員	<p>大郷地区コミュニティ協議会の推薦でまいりました遠藤雪恵です。よろしく願いいたします。地域では民生委員、児童委員をやらせていただいております。</p>
安達委員	<p>鷲巻地区のコミュニティ協議会の副会長を仰せつかっている安達と申します。今回初めて参加させていただきます。よろしく願いいたします。</p>
丸井委員	<p>根岸地域コミュニティ協議会の推薦をいただいて、この会に参加させていただきます丸井武馬と申します。よろしく願いいたします。</p>

長谷川（茂）委員	大通コミ協から選出された長谷川茂です。よろしくお願ひします。
小柳委員	白根コミュニティ協議会から推薦されてまいりました小柳典子と申します。よろしくお願ひいたします。今期、2回目になります。
児玉委員	月瀉コミュニティ協議会から推薦で来ています児玉と申します。よろしくお願ひします。
田中委員	南区民生委員児童委員会会長連絡会からの推薦でまいりました田中順子です。4年目になります。よろしくお願ひいたします。
佐藤委員	南区老連からまいりました佐藤です。初めてですので、よろしくお願ひいたします。
永井委員	おはようございます。南区身体障がい者福祉協会を代表しております永井正子です。 今年4年になりますけれども、また1から一生懸命頑張りたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。
山田委員	おはようございます。音声訳ひばり会の山田と申します。音声訳というのは、視覚障がい者への情報提供。点字ではなくて、文字を音に代えて録音をしてお届けするというこゝで、みなみ風を毎号録音してという視覚障がい者の方にお届けをする活動をしております。初めて参加させていただきます。よろしくお願ひいたします。
知野委員	南区連合保健会からまいりました知野と申します。初めてです。よろしくお願ひいたします。
山田委員	子育て支援リーダーの山田です。地域では、児童民生委員をやっております。よろしくお願ひします。
金子（周）委員	おはようございます。南区社会福祉協議会副会長の金子でございます。よろしくお願ひいたします。
藤委員	おはようございます。白根児童センターからまいりました藤と申します。今年度は、2年目になります。よろしくお願ひいたします。
西村委員	おはようございます。小林コミュニティ協議会から来ました西村と申します。一応、民生委員を2年目務めさせていただいております。今日は、よろしくお願ひします。
事務局	ありがとうございました。 こゝで、一つ事務局からご報告がございます。昨年度まで南区の計画の立ち上げからサポートいただいております元青陵大学の土橋先生から、平成29年いっぱいでお願ひしたいということでございまして、誠に残念ではございますが今年度はされないということでございまして、よろしくお願ひしたいと思ひます。

<p>南区社会福祉協議会事務局長補佐</p>	<p>それでは、事務局も自己紹介ということでございます。手前から順番にお願いしてよろしいでしょうか。</p> <p>おはようございます。南区社会福祉協議会事務局長補佐を仰せつかっております竹石と申します。よろしくお願いいたします。</p>
<p>南区社会福祉協議会事務局長 健康福祉課長</p>	<p>先ほど、ご挨拶をさせていただきました南区社会福祉協議会の事務局長の小林でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、改めまして南区健康福祉課長の田中でございます。よろしくお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>課長補佐の渡邊でございます。よろしくお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>南区健康福祉課地域福祉・高齢介護グループの星野と申します。よろしくお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>南区役所健康福祉課地域福祉・高齢介護グループの新飯田と申します。よろしくお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>南区役所健康福祉課児童福祉係長の長谷川と申します。よろしくお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>南区健康福祉課障がい福祉係長関本と申します。よろしくお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>南区健康福祉課健康増進係長の相田と申します。よろしくお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>南区健康福祉課地域福祉・高齢介護グループの長谷川です。どうぞ、よろしくお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>南区健康福祉課の地域健康係長の斉藤です。よろしくお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>南区健康福祉課保護係長の大野と申します。よろしくお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>南区社会福祉協議会の横山と申します。どうぞ、よろしくお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>皆様、おはようございます。南区社会福祉協議会のソーシャルワーカーをしております三浦です。どうぞ、よろしくお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>おはようございます。南区社会福祉協議会ボランティア市民活動センターボランティアコーディネーターの田村と申します。よろしくお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>南区健康福祉課の地域福祉・高齢介護グループの草間と申します。よろしくお願いいたします。</p>

事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、次第の4に移ります。委員長および副委員長の選任についてでございます。委員長、副会長委員長につきましては、南区地域福祉アクションプラン推進委員会開催要綱第4条、委員長と副委員長および1名をおき、委員の互選により定めると規定されております。委員長、副委員長について自薦、他薦ということでございますが、いかがでございますでしょうか。</p> <p>・・・事務局に一任の声あり・・・</p> <p>事務局から案ということでございますが、改めまして委員長に南区社会福祉協議会選出の金子周永委員に、副委員長として、子育て支援団体選出の山田様をお願いしたいと思っておりますが、いかがでございますでしょうか。</p> <p>・・・会場から拍手あり・・・</p> <p>ありがとうございます。それでは、委員長席と副委員長席にそれぞれお願いいたします。ありがとうございました。</p> <p>それでは、以降の会議の進行につきましては、新潟市南区地域福祉アクションプラン推進委員会開催要綱の規定により、金子委員長からお願いしたいと思います。それでは、委員長よろしく申し上げます。</p>
金子委員長	<p>皆さんおはようございます。ただいま、皆様方から委員長にご推挙いただきました南区社会福祉協議会選出の金子でございます。よろしく申し上げます。</p> <p>本日は、初めてという方も大勢いらっしゃいます。本日の会議の目的でございます。先ほどお話のあったように、2015年から2020年の6年間の南区の地域福祉アクションプランができております。これにつきましては、南区の福祉向上のための計画があるわけでございます。私ども委員の役割といたしまして、この計画も進行状況の把握、それから評価をしているということでございます。</p> <p>それでは、議事に沿って進めてまいりたいと思っております。議事の2、南区地域福祉アクションプランの概要について、ということでございます。今年度初めての委員になられた方もいらっしゃいますので、このアクションプランの概要、それから会議の目的等について事務局から若干ふれてもらってから進めたいと思っております。それでは、事務局お願いいたします。</p>
事務局	<p>私は、健康福祉課の星野でございます。それでは、アクションプ</p>

ランの概要と会議の目的について簡単に説明をさせていただきます。

資料1 南区地域福祉アクションプラン概要版の2ページ目をお開きください。新潟市では、住民にとってより身近な地域の実情を十分にくみ取るため、行政区ごとに計画を策定し地域住民を主体に地域の福祉に取り組んできた経過があります。

このアクションプランは、市町村が策定する地域福祉計画と社会福祉協議会が主体となって地域の生活課題の解決策を見いだす地域福祉活動計画を地域の課題や地域福祉推進の方向性をともにしながら、区として一体的に策定したものとご理解いただければと思います。

計画の構成としては、大きく二つになっています。3ページにあります分野別計画、4ページにあります地区別計画、この二つで構成されています。本日の委員会は、3ページ目にあります分野別計画の各体系に基づいた取組の報告となります。

この分野別計画の体系には、大項目が四つございますのでご覧いただきたいと思います。大項目の一つ目「児童・子育て支援」、二つ目「障がい福祉」、三つ目「高齢者福祉・介護者支援」、四つ目「地域づくり」とあります。

四つの大項目には、それぞれいくつかの小項目がついています。本日の会議の目的は、4ページに進行管理と評価体制と書いてありますが、平成29年度に行われた各取組とその評価案について、委員の皆様にご説明しご意見をいただくということでございますので、何とぞよろしくお願いいたしますと思います。

また、今年度は取組のイメージを具体的にもっていただけるよう、南区地域福祉計画の取組と題した動画を6分間ですがこれからご覧いただきたいと思います。それでは、動画をご覧いただきたいと思いますが、よろしくお願ひします。照明も全部消させていただきます。

・・・・（南区地域福祉計画の取組み動画放映）・・・・

では、席に移動をお願いします。

いかがだったでしょうか。取組を映像で紹介させていただきましたが、これは一部の取組で暫定版であります。今後、さらにいくつかの取組を盛り込んで年度末までには、完成版を作っていく予定でございます。以上で、アクションプランの概要の説明を終わります。

金子委員長	<p>ただいま、映像を見ていただきました。皆様方、今回新しくなられた方につきましては、アクションプランの冊子が届いておりますよね。</p> <p>このアクションプランにつきましては、2015年から2020年までの間に、いわゆる安心安全のまちづくりを基本として福祉をいかにして取組んでいくかということ。6年間の計画が南区にあるわけでございます。</p> <p>そして、1年ごとにこのプランの目的を達成するためにどういう事業に取り組むかということで、皆さん方のところに資料2といたしまして、アクションプラン福祉分野別の計画進行管理表というものがございます。毎年度プランの目標を達成するために、毎年こういう事業をやっていこうというものをこの会議でまた見直して、行政又は社会福祉協議会から示されまして。それが、このプランを達成するために適切に施行されているかどうか、それがまた評価としてどのような形で評価されるかということで、毎年この評価を行っているわけでございます。</p> <p>このあと評価をすることになると思います。そういうことで、今スライドで見ても少し分かりにくいところもあったかもしれませんが、こういうものに取り組んでいるということで、ご理解をいただきたいと思います。</p> <p>ここまで、何かご質問があったら。まだ、分からないというところも多かったと思います。一度、基礎の基礎みたいなところがございますので。ここは分からないというところはありましょうか。そういうところもございますので、何か分からない部分がございますたら遠慮なくご質問していただきたいと思います。それでは、ないようでございますので、先に進んでよろしいでしょうか。</p> <p>それでは、先ほど会の目的について説明してもらいましたが、平成29年度の取組と評価について事務局から説明してもらいます。資料2の進行管理表と資料3の参考資料を併せてご覧いただきまして参考にしていただければと思います。</p> <p>それでは、四つの大項目、いわゆる分野の取組と評価案について、それぞれの担当からお聞きしたいと思います。子育て支援の分野から順に説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>それでは、児童・子育て支援の取組内容について説明いたします。私は、健康福祉課児童福祉係の長谷川と申します。よろしくお願いたします。</p>

では、資料2の1ページ目をお開きください。まず、大項目は「安心して子育てできるまち」、小項目の一つ目は、「子育て世代が孤立しないまちづくり」についてです。取組番号の①多様な手法による子育て情報発信の実施内容としては、健診、育児相談会および保健師や助産師による訪問などの機会を利用し、子育てに関する情報を提供しました。こちらは、予定していた健診をすべて実施しておりますので、評価はAとしました。

次に、取組番号②子育て中の親同士の交流促進、ネットワークづくりでは、健診や育児相談会、NPプログラム、BPプログラム、子育て広場を開催し参加することで同世代の子育て中の親同士の仲間づくりにつながっています。こちらの資料3ですけれども参考資料になっています。参考資料の1ページから4ページにNPプログラム、BPプログラムそして子育てオーエンジャーみなみの資料を載せました。のちほどご覧いただければと思います。子育て支援の取組については先の映像でもいくつかご覧いただきましたが、これらについては、予定どおり開催できたため、評価はAとしました。

BPプログラムについては、予定した回数の開催はできましたが、参加者数が定員に満たなかったため、評価はBとしました。取組内容の最後、③訪問・相談事業強化では、子育て支援以外によるアウトリーチ支援についての訪問希望者がいなかったため実施とはなりませんでしたが、実施するための研修会を行い体制を整えPRも行いましたので、評価をCとしました。

次に、資料1ページの左側の取組番号の①の次にずっと②となっていますけれども、②の一番最後のところは③に訂正をお願いしたいと思います。ミスプリントでした。お願いします。

それぞれの取組と成果については以上ですが、今後の課題につきましては、BPプログラムが新潟市全市展開事業となり、育児不安や孤立感の解消や母子の愛着形成につながっているとみて、今後も参加への呼びかけやPRが必要であること。また、アウトリーチ支援については周知を兼ねてアンケート調査を行った結果、「よい取組」、「利用したい」という回答が70パーセント以上あったのですけれども、実際に申し込みがなかったので引き続きPRを行っていきたいと思っています。

次に資料2の2ページをご覧ください。小項目「地域で支えるゆとりをもった子育てができるまち」についてです。取組番号の①子

育て中の親同士の交流促進、ネットワークづくりではNPプログラム、BPプログラム、サロン交流会、子育て広場交流会を開催し、子育て中の親同士の交流促進につながっていますので、評価はAないしBといたしました。

取組番号①の5番目、安産教室への父親参加を継続、家族・地域で子育てにつなげるは、年間3回の安産教室に各回定数15人のところを1回あたり平均11人の父親の参加があり、育児への参画の第一歩となっております。また、育児をしていくうえで、家族の協力が欠かせないものなので、安産教室や研修などを利用して、父親や家族の育児参加を啓発いたしました。

取組番号①から③は、前ページと重複する取組ですので説明を省略させていただきます。

取組番号④子育て支援リーダー、ボランティアの育成と活動の支援では、子育て支援リーダーを1名増員しましたので、評価はAとしました。

今後の課題としましては、現在取り組んでいる子育て支援以外による子育て広場やNPプログラムなど継続して実施できるよう、リーダーやボランティアがさらに増えるように育成し確保することが課題となっています。

また、社会福祉協議会や支援する子育てサロン同士の交流だけでなく、子育て支援センターも交えた交流も必要と考えています。

次に、資料2の3ページをお開きください。小項目②は子育て支援施設・事業の充実についてです。取組み番号の4つ目までは、前のページと重複しますので省略します。

取組番号③ファミリーサポート・センターによる子育て世帯の支援、事業PRについても登録会員が増えましたので、評価はAとしました。

次の④既存の保育サービスの拡充と新たなサービスの検討については、一つの保育園で、定員を10人に増加し臨時保育士を3名雇用しまして、入園希望に対応しましたので、評価はAとしました。

②のアウトリーチについても、前のページにありましたので省略いたします。

取組番号⑦中高生を中心とした思春期教育の推進ですが、白根高校と各中学校で思春期教育講座を開催しました。回数は、目標

金子委員長	<p>を下回りましたが、参加者数は目標をうわまったため評価はAとしました。また、子供が安心して遊べる環境に対する取組としては児童館、児童センター、子育て支援センターなどを利用されている方からの声や、施設担当の点検などをもとに利用しやすいように施設の改善を行いました。</p> <p>今後の課題としましては、健診や新生児訪問はほぼ全員に実施していますが、育児相談会や子育て支援センター、子育て広場などは今、希望者の参加になりますので、相談ができずに一人で悩んでいる人がいないようにしていくことが今後も必要と考えています。</p> <p>ファミリーサポートセンターについては、会員数は増加していますが、提供会員が減少しているため、住民への事業内容・必要性を分かりやすく伝え、さらにPRが必要となっております。以上で、児童・子育て支援の取組について、説明を終わります。ありがとうございました。</p> <p>どうもありがとうございました。ご意見や質疑につきましては、最後にまとめてやりたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>それでは、続きまして障がい福祉分野にお願ひしたいと思ひます。</p>
事務局	<p>私は、健康福祉課障がい福祉係関本と申します。よろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは、障がい者福祉の取組について説明いたします。小項目名、福祉サービスの利用の相談体制充実についてです。課題の相談支援事業者等の周知のための実施内容は、基幹相談支援センター秋葉を周知する手段として機関誌を窓口に設置したり、相談内容や連絡先を9月17日号の南区役所だよりに掲載いたしました。これは、参考資料の5ページにありますので、のちほどご覧いただければと思ひます。</p> <p>昨年度は、社協だよりによる広報は行っておりませんでした、その代わりとして幼、保育園、小、中学校と関係者を対象とした研修会において相談窓口の周知を行いました。その後、研修会の実施内容について、新聞記事として取り上げてもらひ広く周知を図りました。区だよりに掲載及び、相談支援に関する研修会開催について年度目標1回に対して実績1回、評価はA、社協だよりに掲載については、目標1回に対して実績ゼロということですが、代わりとして</p>

研修会において周知を図るとともに新聞記事としていることから評価につきましてはBとしています。

課題につきましては、基幹相談支援センター秋葉にお聞きしたところ、少しずつではあるけれども件数は増えてきているとのことでしたが、引き続き周知を図っていきたいと思います。

続きまして、5ページをお開きください。小項目、「障がいのある人と地域が交流できるまち」についてです。課題の、地域の人たちへの障がいに対する理解と地域の受け皿づくりのための実施内容は南区自治協議会広聴課へ情報発信ということで、地域の行事等で交流の機会を広げてもらうため、自治協議会への情報提供を依頼し、区内の小中学校長あてに支援学級の生徒さんへの情報提供を依頼しました。

評価については、いずれも協議会に対して、実績1回ということでA評価としております。今後の課題につきましても、障がい者が地域の行事に参加できるよう継続的にはたらきかけを行い、情報発信に努めたいと思っております。

続きまして、資料2の6ページをご覧ください。小項目、自立支援体制の充実についてです。課題は、地域の課題の解決に向けて話し合える環境整備の推進。このための実施内容は、南区障がい者自立支援協議会の運営ということで、協議会では平成28年度と平成29年度の2か年で六つの地域課題に取り組みました。

この地域課題は、それぞれ進行管理を行いながら情報共有を行っているもので、年度目標の4回に対して、実績も4回開催いたしました。これは、先ほどの映像にも協議会の様子をご覧いただきましたし、参考資料の6ページに記事の写しがありますので、のちほどご覧いただければと思います。

もう一つ、南区地域福祉ネットワーク会議の運営についてですが、9月と3月に研修会を開催しました。二つの取組について、こちらもA評価としております。

今後の課題につきましては、地域の課題等について情報共有が必要ですので、積極的に取り組んでいること。

最後になります。資料2の7ページをお開きください。小項目「わかりやすい福祉情報の提供」についてです。課題は、障がいのある人が安心して外出する、バリアフリー情報が不足しているということで、福祉新聞の発行の検討について検討会を1回開催する目標について1回実施しました。

金子委員長 事務局	<p>検討の内容としましては、だれが作成するか、スタッフも新聞発行の予算もなく課題が多くある検討結果となったことから、ほかの取組に置き換え、新聞という形ではなく情報発信をしているという結果に至りました。</p> <p>なお、バリアフリー情報につきましては、昨年度の区づくり事業でバリアフリー情報を掲載した福祉マップを発行しています。今後の課題と情報の発信と方向については、ほかの取組に置き換え、区だよりや研修会をとおして情報発信をしていくということを考えています。</p> <p>評価につきましては、目標設定の回数であげていましたので、目標1回、実施1回、A評価としております。以上、障がい者福祉の係、平成29年度進行管理の主な日程を終わります。</p> <p>どうもありがとうございました。それでは、三つ目の分野になりました高齢者福祉・介護者支援分野のご説明をお願いいたします。</p> <p>私は、健康福祉課の相田と申します。よろしく申し上げます。それでは、高齢者福祉・介護者支援の取組について説明いたします。資料2の8ページをお開きください。小項目「高齢者・介護者を支えあうまちづくり」です。こちらは課題が3点ありまして、まず1点目が地域力の弱体化。人間関係が希薄になっており、隣近所の様子が分からないという課題があがっております。これに関して取組内容につきまして、取組番号①です。地域で高齢者の見守りを行うにあたり、個人情報の取り扱いに戸惑うことも多いと思います。</p> <p>平成29年度は、介護専門職や民生委員、自治会などの方々を対象に個人情報の取り扱いについての研修を実施しました。当日のようは、NHKのニュースにも取り上げられ、大変有意義な研修会となりました。</p> <p>次に、課題の二つ目です。こちらは、地域包括支援センターの認知度がまだ低いという課題に対してですが、取組内容は②となります。毎月1回南区だよりに高齢者の相談窓口として、地域包括支援センターの情報を掲載しております。</p> <p>次に、区内スーパーで行う高齢者出張相談会というものを開催しております。このときにのぼり旗を出してPRをしてまいりました。</p> <p>続いて、課題の3点目です。こちらは、介護教室の参加人数が少ないという課題に対してです。取組番号③になります。</p> <p>南区の日常生活圏域ごとに継続して開催しました。三つの圏域と</p>
--------------	--

は、1の圏域臼井、白根北圏域、二つ目の圏域は白南、白根第一圏域、3番目の圏域は味方、月潟圏域というエリアになっております。委託先事業所におきましては、実施回数や参加人数の増加に努めるようにしてまいりました。

ここで、参考資料の7ページをお開きください。今年の3月に開催しました各介護教室の案内になります。講師を招いての講義や、実際に体を動かすレクリエーションを行いました。詳しくは、またのちほどご確認いただければと思います。

最後に、取組番号④の区および圏域でのケア会議の開催についてです。圏域ごとでは、3回の会議を実施できました。区域についても平成28年度は実施できませんでしたが、平成29年度については2回の会議を開催しました。

会議では、介護や医療の専門職の方々と認知症対策の課題などについて話し合いが行われました。会議で浮上した課題の解決に向けて、今年度も取り組んでまいります。ここまでの取組について、概ね達成できましたので評価はAとしました。

今後の課題につきましては、まだまだ地域力の再構築が求められていく中で、地域全体を見るとまだ互助による助け合いの意識が不足しております。住民全体の見守りや支え合いにできる地域づくりへの取組を引き続き支援する必要があります。

次に、地域包括支援センターの認知度は、こうした活動の中から少しずつあがってきてはいるものの、まだまだ不十分な状態です。介護教室も日常生活圏域で開催ができるようになりましたが、参加人数にはまだばらつきがあります。そして、内容も人数にあったものとする事や、開催周知についての再考がこれから求められていきます。平成30年度実施計画につきましては、このような内容で改正を工夫しながら、同様に取り組んでいるところです。

次に資料2の9ページをご覧ください。小項目、高齢者の健康づくり・介護予防の推進という項目に対しての活動になります。課題が2点ありまして、一つ目は生活習慣病の予防と早期発見につながる特定健診の高齢者層の受診率、また後期高齢者健診や各種がん健診の受診率はとても低い状況にあります。二つ目は、飲酒・喫煙率が高く運動習慣がある人が少なく、このままでは生活習慣病の発症が危惧されます。

これに対する取組内容①は高齢者の健康づくりと介護予防推進のため、地区での健康づくり講座を支援するものフォロー講座を

実施しました。

参考資料 8 ページから 9 ページをご覧ください。こちらの内容はウォーキング講座になっております。白根健康福祉センターこの会場で実施しております。年度評価は A としております。

また、先ほどの進行管理表に戻りまして、健診を受けやすくするためにミニドッグ型集団検診を実施し、特定健診の受診者は増加しましたが、目標値までは達成せず 3,040 人と目標値の 76 パーセントの達成状況でした。そのため、年度評価は B としました。ただし、受診率は 8 区中の区別順位で、平成 27 年度は 5 位だったものが平成 29 年度は 3 位に上がってきており、健康づくりの関心が深まってきつつあります。

健康づくりの取組に関しましては、参考資料 10 ページから 11 ページに掲載しておりますので、ご覧ください。こちらのものは、昨年度のミニドッグ型集団検診と取組番号①の三つ目にある「はかろう体重！大作戦」についての取組が新聞に取り上げられたものです。

南区では、糖尿病や高血圧の診療費が比較的高く、区民の健康寿命を延ばす、健康づくりに関心をもってもらうということで様々な取組を行い成果につながってきているところです。

取組番号①はかろう体重！大作戦は事業 PR をコミュニティ協議会と一緒に実施し、目標を上回るカード配布となりました。

取組番号②については、主に保健会で取り組んでいる健康づくり講演会についてです。大通地区保健会で実施した開催前のチラシが参考資料の 12 ページにありますので、のちほどご確認いただければと思います。こうした、健康づくり講演会を各地区で 13 回実施しました。

また、各地区で主に体を動かす講座を「元気アップ講座」として、年間 20 回開催しました。年度評価は、計画どおり進めておりますので A 評価といたしました。

今後の課題につきましては、健診受診率を高めるためにさらなる PR が必要です。生活習慣の改善では、「はかろう体重！大作戦」が区民全体の取組となるよう、今後は企業等を含め区民へ広く周知し参加を呼びかけていく予定です。本日、私が着用している T シャツもこの一環で南区が作成した PR のための T シャツです。職員がそれぞれ購入し、PR に協力していただいております。

では、資料 2 の 10 ページをお開きください。こちらは分科会の

の最後の小項目となります。認知症の予防と対策についてです。

課題として、認知症高齢者の増加と認知症の理解があげられています。取組内容としましては、①脳の健康教室（楽しく脳力アップ塾）を1講座実施いたしました。参考資料の13ページから14ページにこの開催案内がありますので、のちほど確認いただければと思います。こちらの講座は年間をとおして22回のコースになっております。講座参加者のレベルは非常に改善されておおります。

次に、取組番号②についてです。こちらの参考資料の15ページから16ページに資料が出ておりますので、ご覧いただければと思います。参考資料15から16ページをお開きください。認知症サポーター養成講座について、各日常生活圏域のケア会議をとおして必要性を理解してもらったところ、21回の認知症サポーター講座を実施できました。老人クラブや地域の茶の間など地域の方々から小学校、高校、企業など幅広い管理で行われているのが特徴となっております。

また平成29年度は南区勤務の市職員向けの講座を開催し、高齢者に関係する職務以外の職員にも啓発に努めました。

続いて、認知症キャラバンメイト。こちらは、認知症サポーターを養成する講座で、講師役となる方々をキャラバンメイトと呼んでおります。キャラバンメイトの未経験者と経験者との顔合わせを行うことで、認知症サポーター養成講座の円滑な開催につなげました。

続いて、平成27年度に地域包括支援センターやボランティアにより、先の映像にもありましたが、南区で初めて認知症カフェが誕生し継続的に開催されてきました。認知症やその家族の通いの場となっており、昨年5月より毎月の実施となり計11回開催されました。この小項目に関する年度評価といたしましては、概ね目標どおりに実施できたとして、A評価といたしました。

今後の課題についてですが、軽度の認知症も含め認知症高齢者は確実に増加傾向にあります。地域での見守りや専門職による初期集中支援の対応が求められております。

また、認知症カフェの開催も定例化してきましたが、参加者やボランティアの固定化も見られ、これからの運営方法も検討していく必要があります。

キャラバンメイトの活躍の場については、連絡会をとおして定期的に検討していきます。それ以外のより多くの地域の方々にサポー

<p>金子委員長 事務局</p>	<p>ターとなってもらい、認知症を正しく理解していただき、認知症の方やその家族を暖かく見守る関係づくりが必要となっておりますので、講座についてより多く開催できるよう努めてまいります。</p> <p>平成30年度は、ほぼ項目としては平成29年度の同様の取組をしていますが、今の課題についてはそれぞれ反映させながら進めております。以上、高齢福祉・介護者支援の説明を終わります。</p> <p>ありがとうございました。それでは、最後の分野でございますが、地域づくり分野お願いいたします。</p> <p>南区社会福祉協議会の田村と申します。よろしく願いいたします。地域づくり分野の資料2の11ページをお開き下さい。私たちが支えあい助けあうまち、地域のボランティア活動の場の発信と活動支援というところで報告させていただきます。</p> <p>取組番号①白根健康福祉センターのボランティア活動の拠点化ですが、毎月第3火曜日午後にボランティアサロンをボランティアルームで開催し、拠点化を目指し努力いたしました。ボランティアルーム活動人数の増加などの成果がありました。よって、評価はAといたしました。</p> <p>続きまして、取組番号②南区版ボランティア情報誌の発行ですが、ボランティア情報誌を年間2回目標と同じく発行いたしました。これにより、ボランティア市民活動センターの取組を広く広報することで、ボランティア活動の啓発に効果がありました。よって、評価をAといたしました。</p> <p>広報につきましては、参考資料の17ページから24ページをご覧くださいと思います。毎年10月と3月に発行し、主なボランティア市民活動センターの事業の紹介や講座の内容や案内を掲載させていただいております。今回、こちらの資料3に載っている内容は、内容ごとに皆様のお手元にっておりますが、実際の情報誌はその分、様々な情報をまぜて作成してお送りしておりますので、ご了承くださいと思います。</p> <p>続きまして、③ボランティア情報の集約とネットワーク化というところで、ボランティアの交流会開催により情報集約し、連携体制の構築については、年に1回の目標に対し中学生のボランティア交流会に公民館との共催を含め年2回開催いたしました。これにより、ボランティア同士の情報共有、連携体制の構築などの成果がありました。よって、評価についてはAといたしました。</p> <p>続きまして、取組番号④ボランティア育成講座の開催と活動の場</p>
----------------------	---

の紹介ですが、ボランティア講座を年4回の目標に対し年5回開催いたしました。これにより、新たなボランティア登録などの成果がございました。よって、評価はAといたしました。

次に、取組番号⑤福祉教育の充実です。区内の小中学校の実績といたしましては、小学校が7校、中学校が2校の総合学習の時間を利用して福祉教育の推進、企業に向け福祉教育を行うについては年16回の目標に対し、小中学校合わせて年28回。大人向けの福祉教育に関しましては、年2回開催いたしました。先ほどの映像や参考資料の21ページから22ページにもありますが、これにより学校での福祉教育は子供や福祉への関心を深めることができました。

また、地区社協の協力を得ることで、地域と子供のつながるきっかけを作りました。また、子供だけでなく大人への福祉教育を2回開催いたしました。それを行うことで幅広く福祉教育に関する理解を得ることができました。よって、評価をAといたしました。

最後に取組番号⑥災害ボランティアの育成です。災害ボランティア設置訓練を開催、同じく検討委員会を開催については、訓練を1回、検討委員会を年6回、研修会1回の目標に対し、訓練が年間2回、検討委員会6回を開催いたしました。参考資料の23ページに訓練の様子が出ていますので、のちほどご覧いただければと思います。これにより、災害の際のつながりやボランティアセンターの必要性を地域の方に知ってもらうというところで成果がありました。よって、評価はAといたしました。

それぞれの取組と評価については以上ですが、今後の課題等につきましては、ニーズに合ったボランティアの育成や災害ボランティアセンターの幅広い周知という課題があります。研修会や訓練などを引き続き行い取り組んでいきたいと考えております。

また、今年度も災害ボランティアセンター設置訓練および研修会を開催する予定となっております。災害ボランティアセンターは、ボランティアをしたい人だけが集まる場所ではなく、被災者に寄り添った支援を行う点であることの周知を図っていきたいと考えております。以上で、ボランティア関連の説明を終わります。

引き続きまして、資料12ページの地域の茶の間・ふれあいいききサロン活動の支援についてです。取組番号①、②各種講座やサロン交流会の研修会の実施です。交流会および研修会それぞれ年1回の目標に対し、同じく年1回開催いたしました。交流会では、25団体61名で、研修会では35団体62名の参加がありました。

交流会においては、サロン同士の情報交換、南区で活動しているボランティアの活動を情報共有するといった成果がありました。研修会では、平成 30 年度からの助成申請についての説明を平成 29 年度の報告についての説明を行いました。よって、評価はAといたしました。

次に、取組番号②男性を対象にした交流会の開催ですが、年 2 回の目標に対し実施なしでした。これは、在宅介護をしている男性、ひきこもりがちな男性向けへの交流会を目標としていましたが、男性介護者自身に自由な時間もなく、ひきこもりがちな方に対し回りから声をかけないと参加しにくいといった課題があり、交流会の内容について男性を中心に地域の方と交流ができるような交流会を開催いたしました。評価についてはDといたしましたが、先ほどの映像にもありましたように、今年度はモデルハウス天昌堂にてメンズデイを企画し取り組んでいるところです。

次に、取組番号③南区サロン・お茶の間マップを年間 1 回社協だよりに掲載し、サロン活動内容の広報を各サロン茶の間会場に冊子を設置し随時内容を更新するについて、目標では広報誌掲載と冊子内容の更新を図る。でしたが、社協広報誌にサロンの活動団体一覧を掲載し、地域の茶の間・サロン団体ファイルを作成しファイルの配布をいたしました。よって、評価はAといたしました。

次に取組番号④地域にあった茶の間づくり支援についてですが、未設定の目標に対し 1 か所立ち会いをいたしました。農閑期に定期的に地域の方が集まる場が欲しいという相談から、圏域の助け合いのしくみづくり推進員が地域で助け合い、支えあいについて説明し、茶の間の活動から地域のつながりを深めることが大事であることにご理解をいただいたと考えています。ただ、昨年度は 4 か所でしたので、評価はCといたしました。

最後に、取組番号⑤世代間交流の開催について年間 2 か所の目標に対し 1 回行いました。これは、フロアカーリング大会を行ったものです。評価についてはCといたしました。

それぞれ、取組と成果については以上ですが、今後課題等につきましては、既存のサロンの参加人数の減少、継続性、男性を対象にした交流会の開催という課題がありますので、定期的なサロンの訪問や地域や関係機関との情報収集など引き続き取り組んでいきます。以上、地域の茶の間、いきいきサロン関連の説明を終わります。ありがとうございました。

事務局	<p>地域づくり分野の引き続きになります。健康福祉課地域福祉・高齢介護グループの星野です。</p> <p>支えあい、助けあいまちづくり、まち関連の説明になりますが、所管である南区地域総務課総務安心安全グループの立川主幹が所用で欠席のため、私の方から説明させていただきます。よろしくお願いいたします。それでは、資料2の13ページと参考資料の25ページをお開きください。</p> <p>避難行動要支援者支援体制の充実について説明いたします。取組番号①各自主防災会での防災訓練における要支援者支援訓練の実施ですが、各自主防災組織の訓練実施率が年65%の目標に対し、23の自主防災会中15の自主防災会で実施したということで65%となりました。</p> <p>要支援者支援訓練については、市の推奨訓練になっておりますが、地域における自主防災訓練の実施率は年度によってばらつきがあります。区では、それを補う形で区の総合防災訓練で要支援者の確認方法は各自主防災会にお任せする形で必ず要支援者支援訓練を取り上げておりますが、各地域単独の自主防災訓練に取り組んでいただけるよう、今後も啓発をしていきたいと思っております。評価については、目標値を上回ったということでAとしました。</p> <p>同じく、取組番号①支援者名簿と避難行動要支援者登録対象者の確認ですが、対象者の確認を全自治会に対して要請する目標に対し、6月、12月の年度更新の際に各自治会、町内会、自主防災会議に名簿を送付し要支援者の確認要請を行いました。よって、評価についてはAとしました。</p> <p>同じく取組番号①、地域の避難行動要支援者登録対象者への意識づけですが、自治会、町内会会長の研修会で年1回行う目標に対し、同じく1回行いました。</p> <p>また、平成29年度は、制度名称が「災害時要援護者支援制度」から、「避難行動要支援者支援制度」に名称変更となり、自治会・町内会長や自主防災会等を対象に制度に関する説明会を1回実施し計2回となり目標値を上回ったということで、評価についてはAとしました。</p> <p>取組番号②高校生の防災ボランティア育成研修会の開催です。白根高校の生徒の皆さんに対して年2回行う目標に対し、1、2年生を対象に1回、3年生を対象に1回と計2回。近隣の自治会、自主防災会、防災士の方々にもご参加いただき実施しました。</p>
-----	--

	<p>白根高校の防災ボランティア講座については、防犯のみならず地域防災の担い手として、引き続き実施していきたいと思います。評価については、目標値を達成しているということでAとしました。それぞれの取組と成果については以上ですが、今後の課題等につきましては避難行動要支援者名簿について、役員交代時の引き継ぎがしっかりされていないというケースがありますので、引き続き説明会などで周知していきたいと思います。</p> <p>また、避難行動要支援者支援訓練についても、市の推奨する訓練の位置づけになっていることから、実施率向上に向け自主防災会組織活動助成となって、自主防災組織活動助成の震災の際に、自主防災組織に実施をお願いするとともに、区の総合防災訓練にも取り入れるなどし、引き続き取り組んでいきます。以上で、説明を終わります。</p>
金子委員長	<p>どうもありがとうございました。ただいま、四つの分野の小項目ごとに、平成 29 年度の取組内容、効果、評価案ということで説明がございました。目標の達成に向け、様々な取組が実施されていることをご理解いただいたかと思います。皆様方から、何かご意見やご質問があれば挙手をお願いしたいと思います。</p> <p>なお、議事録作成の関係でマイクがわたりますので、最初にお名前をおっしゃっていただいてからご発言をお願いいたします。何かお聞きしたいことがございましたら、ご遠慮なく挙手をお願いしたいと思います。いかがでございましょうか。何でも結構ですので、分からないことで聞いてみたいということがあれば、挙手をお願いしたいと思います。</p>
山田（久）委員	<p>南区音声訳ひばり会の山田と申します。一つお聞かせいただきたいのですが、高齢者が安心して暮らせるまちの大項目の中で、小項目の一番上に高齢者の閉じこもりや孤立の防止が無いのはなぜですか？この資料がない。ないような気がするのですが。</p>
金子委員長	<p>これは、どなたでしょうか。すみません、もう 1 回お願いできますでしょうか。前のほう、1 回。</p>
山田（久）委員	<p>資料 2 の進行管理表で、それぞれどちらの福祉分野別計画書の大項目、小項目ごとに進行管理表が載っているのですが、高齢者が安心して暮らせるまちという大項目の一番最初に高齢者のひきこもりや閉じこもりや孤立の防止の小項目があります。今回はその進行管理表がないように思うのですが、どうなっているのでしょうか。</p>
事務局	<p>南区健康福祉課の長谷川です。高齢者の閉じこもりや孤立の防</p>

	<p>止、こちらの活動自体が地域の茶の間の活動と対応するというような形になりますので、基本的には地域の茶の間の方、いきいきサロン活動支援の方にまわって、29年から一緒にやっている形になります。</p>
金子委員長	<p>閉じこもりの防止、孤立の防止ですけれども、これが地域づくりの地域の茶の間、ふれあいいきいきサロンの活動と一緒にしているというようなことだと思うのですね。ということで、閉じこもり防止、孤立の防止という小項目が、下と一緒にしているような状況だということだそうです。よろしいでしょうか。</p>
山田（久）委員	<p>であれば、その小項目をきちんと進行管理表に載せないと、単純にそれが落ちてしまったと思えてしまいますので、それが一緒になった小項目として、二つ併記するべきではないかと思います。次回からそのようにお願いしたいと思います。</p>
金子委員長	<p>では、事務局そのようにお願いいたします。ほかに、ございませんでしょうか。</p>
山田委員	<p>意見というよりは、味方のことです。味方からは今、永井委員しか出ていないので、発表させていただきます。</p> <p>若者のひきこもりというものが今とても大きな話題になっておりますけれども、ここの中にはないように思います。</p> <p>味方で、パートナーシップ事業として、味方小学校、中学校におむすびクラブというところがあります。そこで、自学おうえん隊といって、子供たちに地域の者がお勉強を教えるということをやっています。今日も、子供たちにお勉強を今教えているのですけれども、その所に若者が子供たちに勉強を教えるという形で入りまして、そこから3人の若者が10年間で自立しております。仕事にきちんと就けております。統合失調症の方、うつ病の方、もう一人は統合失調症の方でしょうか。</p> <p>そのおむすびクラブと味方児童館で、いろいろな催し物をやるのですけれども、そのところにも参加しています。そこに、さりげなく民生委員、児童委員がついてサポートしているような形でお聞きしているので、地域全体で若者たちを支えていくということは、こういう形からもできるのではないかと思ひまして、一応自慢させていただきたく発表させていただきました。</p>
金子委員長	<p>今のお話なども参考にして事業等計画していただければありがたいと思っております。いかがでございましょうか。もし、ないようであれば、これで質疑を終了させていただいてもよろしいです</p>

知野委員	<p>か。知野さん、何かありますか。</p> <p>あまりにもたくさんありすぎて、何を質問していいかわからないような状況です。</p>
金子委員長	<p>これで、質疑を終了させていただきたいと思います。どうもありがとうございました。それでは、先に進ませていただきますが、次第の5、報告および連絡事項でございます。事務局、お願いいたします。</p>
事務局	<p>それでは、連絡事項を三点ほどです。</p> <p>まず、1点目、分科会希望票についてです。今日、お配りした中に分科会希望票があるかと思えます。当推進会では、開催要綱の第6条に委員会は具体的な計画の推進や課題を個別に検討するため、分科会を開催することができると定められております。</p> <p>昨年度まで、推進委員会の前段に年2回分科会を開催してまいりましたが、事務事業の見直しにより必要に応じて開催、招集するというので、前回の推進委員会で承認を得ております。ただ、いつでも分科会を招集できるよう構成だけは予め決めさせていただければと思っております。</p> <p>つきましては、本日お配りした希望票に第3希望まで丸をつけていただき、お帰りの際に受付にお返しいただければと思えます。よろしく、どうぞお願いいたします。後日、希望等勘案させていただきますまして、分科会の構成を決めていきたいと思えます。</p> <p>続きまして、2点目、次回の推進委員会の開催は3月中旬を予定しております。今回は、平成31年度の計画案や今年度の地区別計画の取組についてそれぞれ地区の推進委員の皆様から取組状況や評価をご報告いただくこととなりますので、よろしくお願ひ申し上げます。</p> <p>3点目、今年度新たに委員に就任された方は、マイナンバーの報告書を事前資料と合わせて郵送させていただきました。報償費の支払いのときに必要となりますので、この回終了後に事務局の方までお願いしたいと思います。以上でございます。</p>
金子委員長	<p>この会議は、例年年2回開催いたしておまして、次回の会議では3月ということでございます。そのときは、分野別計画だけではなくて、南区内の12地区の地区別計画の進捗についても地区から報告があるかと思えます。</p> <p>それでは、本日議事等終了いたしましたので会議の進行を事務局にお返ししたいと思います。スムーズな進行にご協力いただき</p>

事務局	<p>まして、大変ありがとうございました。</p> <p>ありがとうございました。長時間にわたりまして、皆様ありがとうございました。今日いただきましたご意見を参考に一つ我々でも見直さなければいけない部分が出てきたようですので、資料の作り方とか、資料の企画も含めて見直しをさせていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>本日は、これですべて終了いたしました。大変ありがとうございました。</p>
-----	--